

2018年度 3-11月期 業績概要

注意事項

- **当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しております。
よって、2018年3-11月期業績値と比較対象となる2017年4-12月期業績値の期間が
異なっているため、前年同期比の表記は〈参考値〉として記載しています。**
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2018年3月1日～2018年11月30日)

1. 2018年度3-11月期連結決算

- 2018年度3-11期実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2018年度3Qにおける取り組み

2. 2018年度通期連結決算見通し

- 2018年度通期見通し
- 営業利益増減要因分析

3. 参考資料

- 設備投資,研究開発費,
為替レート・感応度
- B / S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ
Σ-7シリーズ



安川インバータ
新シリーズ

マトリクス
コンバータ
U1000

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8

新型7軸アーク溶接
ロボット
MOTOMAN-AR1440E



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT
ハンドキャリータイプ

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



パワーコンディショナ
XGI1000 65kW



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ EV用モータドライブシステム
- ・ 物流サービス

など

1. 2018年度3-11月期連結決算

2018年度3-11月期実績（連結）

- 中国を中心に減速感が強まるも、増収増益を達成（過去最高）

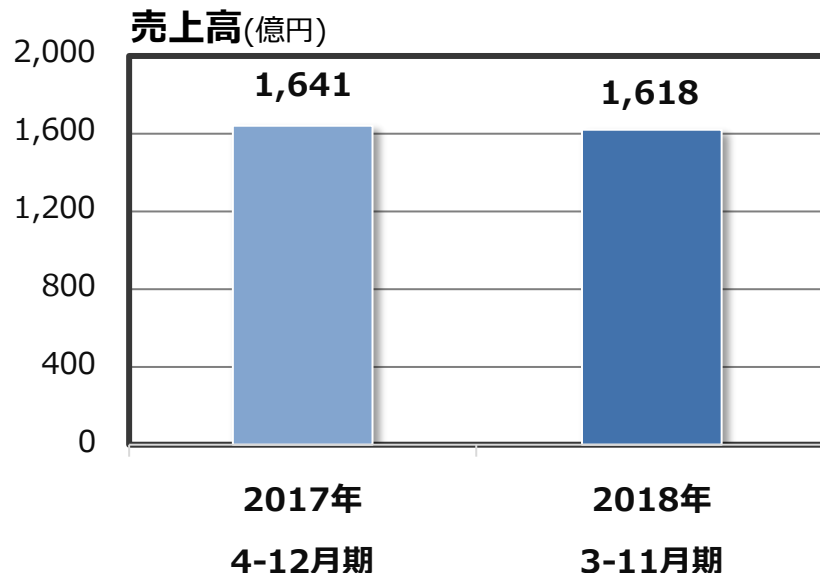
	2018年度 3-11月期	2017年度 4-12月期	前年同期比〈参考値〉	
			増減額	増減率
売上高	3,613億円	3,398億円	+215億円	+6.3%
営業利益	416億円	416億円	+1億円	+0.1%
経常利益	428億円	416億円	+12億円	+2.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	379億円	297億円	+83億円	+27.9%

2018年度3-11月期実績（セグメント別）

- モーションコントロールが伸び悩んだ一方、ロボットは堅調
- システムエンジニアリングは再編効果により収益性が改善
- その他は子会社の再編や新規連結化の影響などにより、増収増益

	2018年度 3-11月期		2017年度 4-12月期		前年同期比〈参考値〉	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上高	3,613		3,398		+215	+6.3%
モーションコントロール	1,618		1,641		▲23	▲1.4%
ロボット	1,318		1,205		+113	+9.4%
システムエンジニアリング	421		409		+13	+3.2%
その他	256		144		+112	+78.0%
営業利益	416	11.5%	416	12.2%	+1	+0.1%
モーションコントロール	293	18.1%	322	19.6%	▲29	▲9.1%
ロボット	136	10.3%	135	11.2%	+1	+0.8%
システムエンジニアリング	▲3	▲0.6%	▲31	▲7.5%	+28	-
その他	4	1.7%	1	0.6%	+3	+416.9%
消去または全社	▲14	-	▲12	-	▲3	-
経常利益	428	11.9%	416	12.2%	+12	+2.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	379	10.5%	297	8.7%	+83	+27.9%

主要事業の概要_モーションコントロール

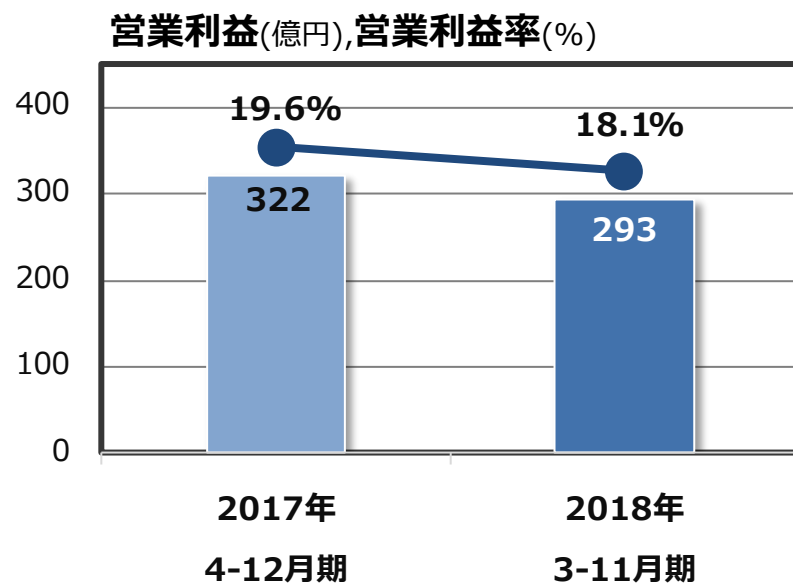


【売上高】

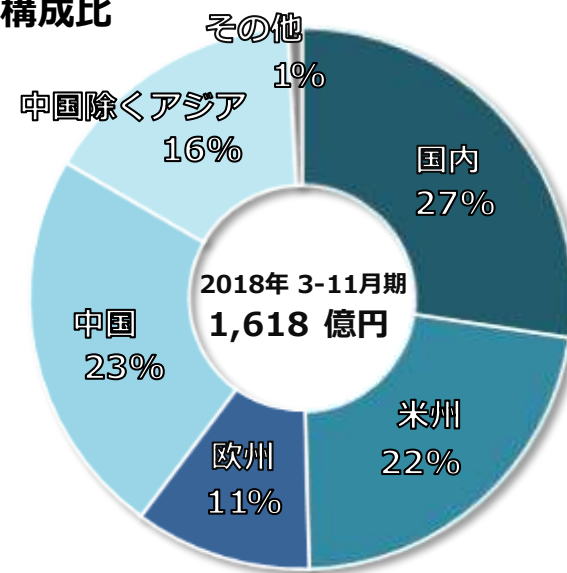
- ACサーボは、中国を中心とした米中貿易摩擦の影響や、半導体関連の設備投資の弱含みにより伸び悩む
- インバータは、日本のインフラ需要に加え、米国オイル・ガス関連需要を受け堅調

【営業利益】

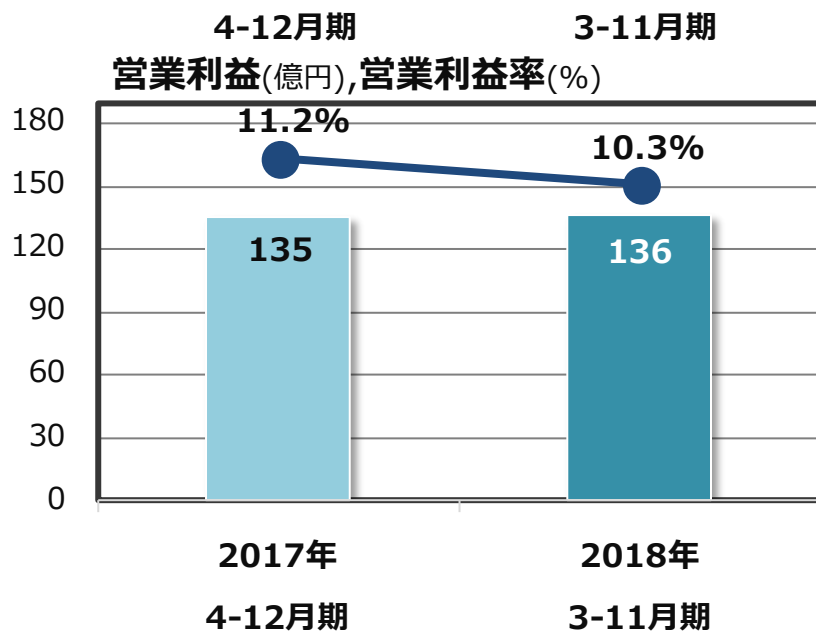
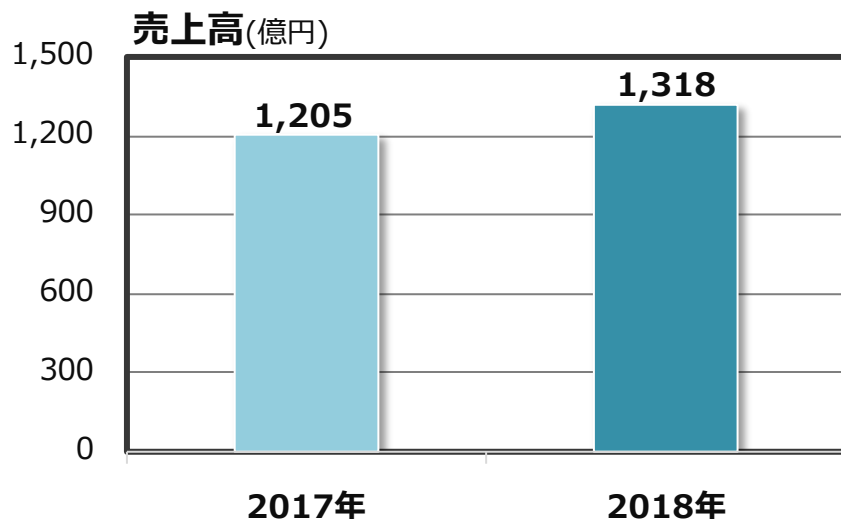
- インバータがグローバルで堅調も、ACサーボが中国を中心に減速したため、営業利益は伸び悩む



仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット



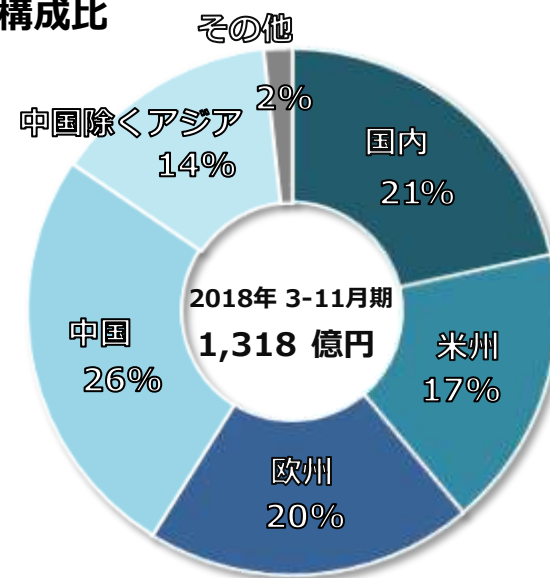
【売上高】

- 自動車関連は、欧州をはじめグローバルで高水準
- 一般産業分野では、前年好調だったスマートフォン関連の需要が減速

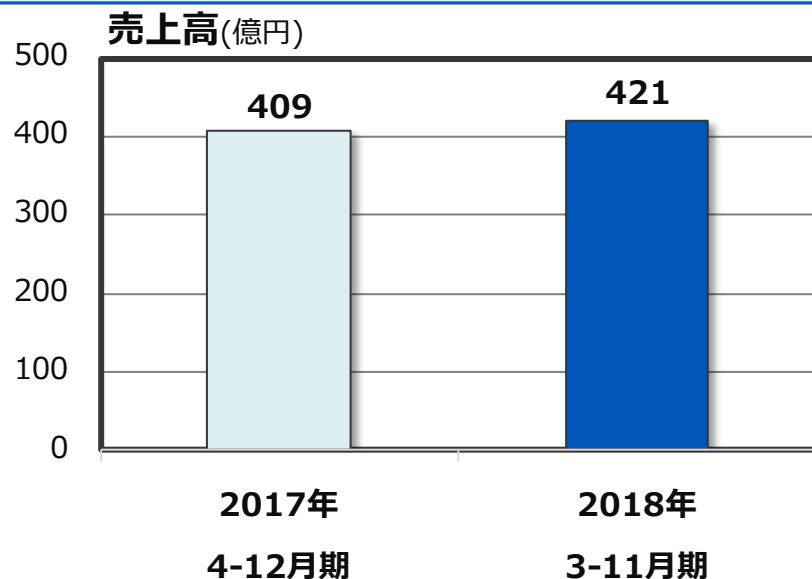
【営業利益】

- 利益は伸び悩んだものの、利益率は10%台を維持

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング



【売上高】

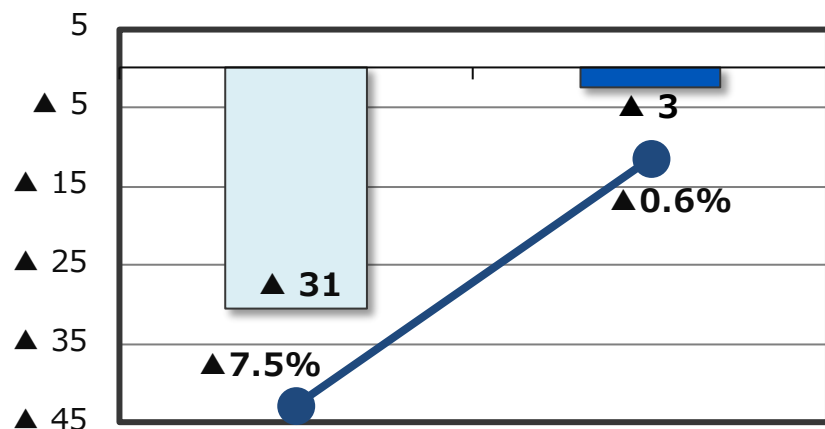
- 鉄鋼・社会システムは堅調に推移
- 環境エネルギー分野では、太陽光発電関連が低迷も大型風力発電関連が欧州で伸長

【営業損益】

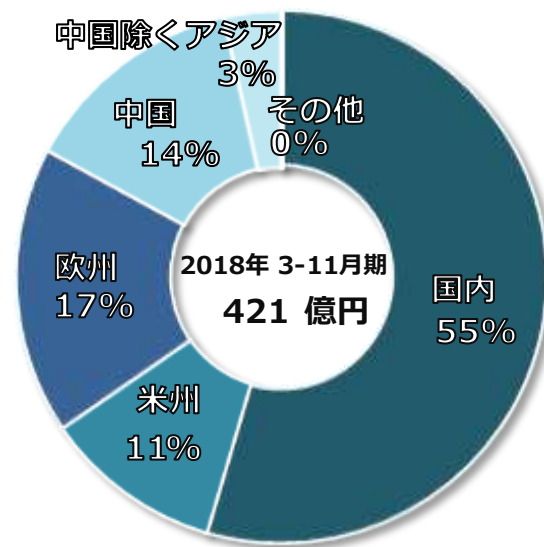
- 鉄鋼・社会システムの売上増加および環境エネルギー関連の再編を通じた経費削減等により、収益性が改善

営業損益(億円), 営業損益率(%)

2017年 4-12月期 2018年 3-11月期

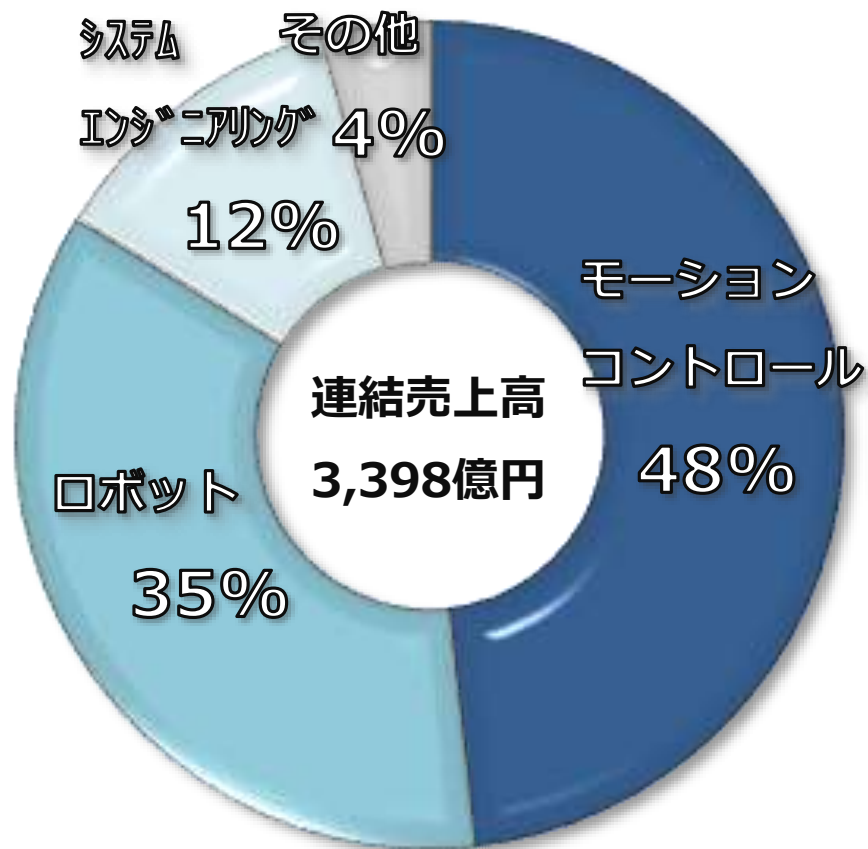


仕向先別売上高構成比

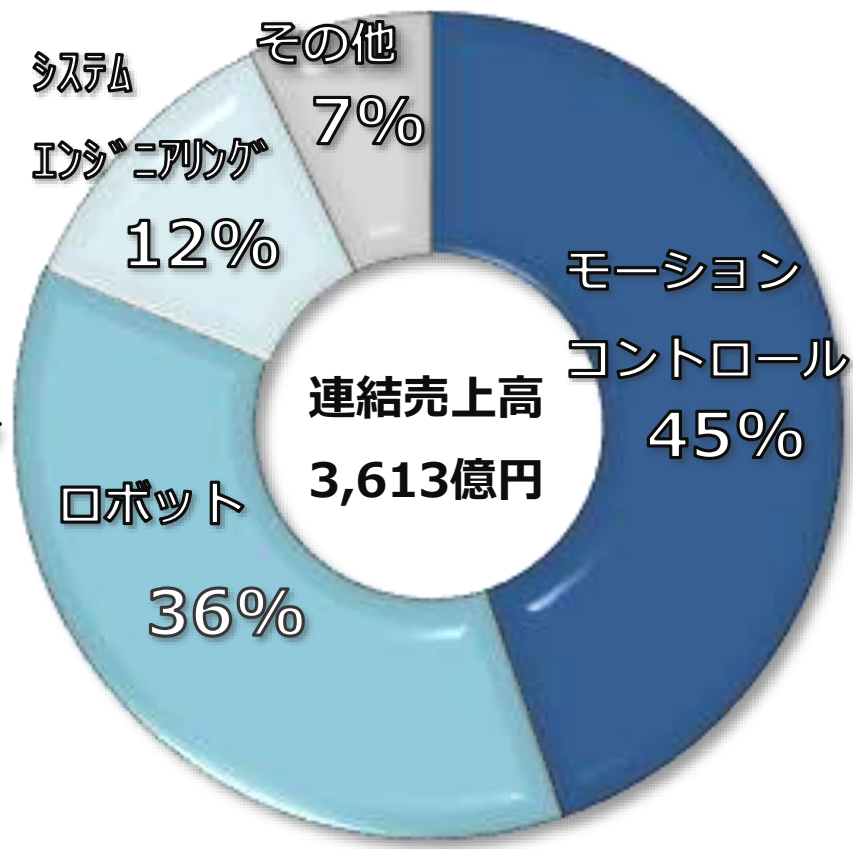


事業セグメント別売上高構成比

2017年度 4-12月期



2018年度 3-11月期



仕向先別売上高（2017年度4-12月期 → 2018年度3-11月期）

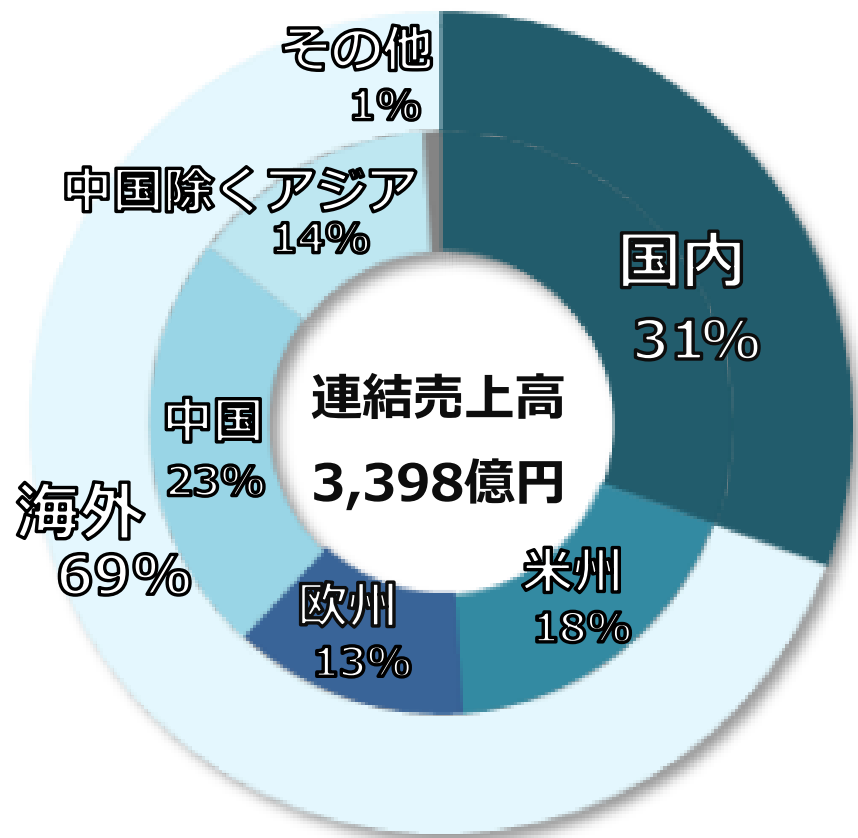
・ 国内・欧州を中心に全ての地域で売上高が伸長

	2018年度 3-11月期	2017年度 4-12月期	前年同 期 比 〈参考値〉	
			増減額	増減率
(単位：億円)				
売上高	3,613	3,398	+215	+6.3%
国内	1,139	1,042	+97	+9.3%
海外	2,474	2,357	+117	+5.0%
米州	633	622	+11	+1.8%
欧州	508	439	+69	+15.8%
中国	813	798	+14	+1.8%
中国除くアジア	487	466	+21	+4.5%
その他	33	31	+2	+7.1%

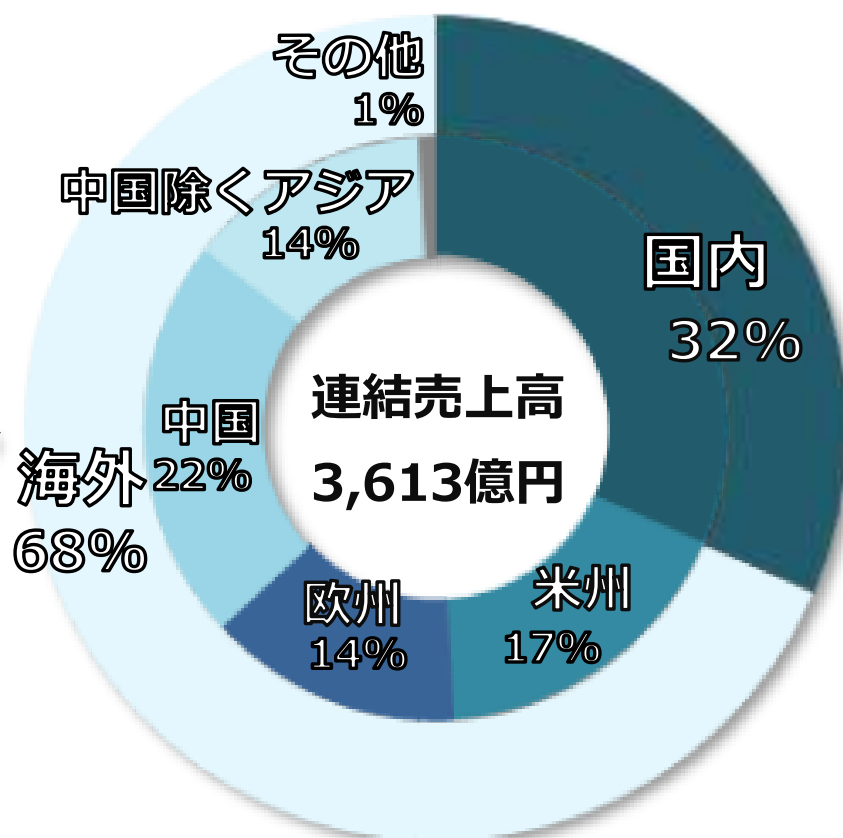
[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

仕向先別売上高構成比

2017年度 4-12月期

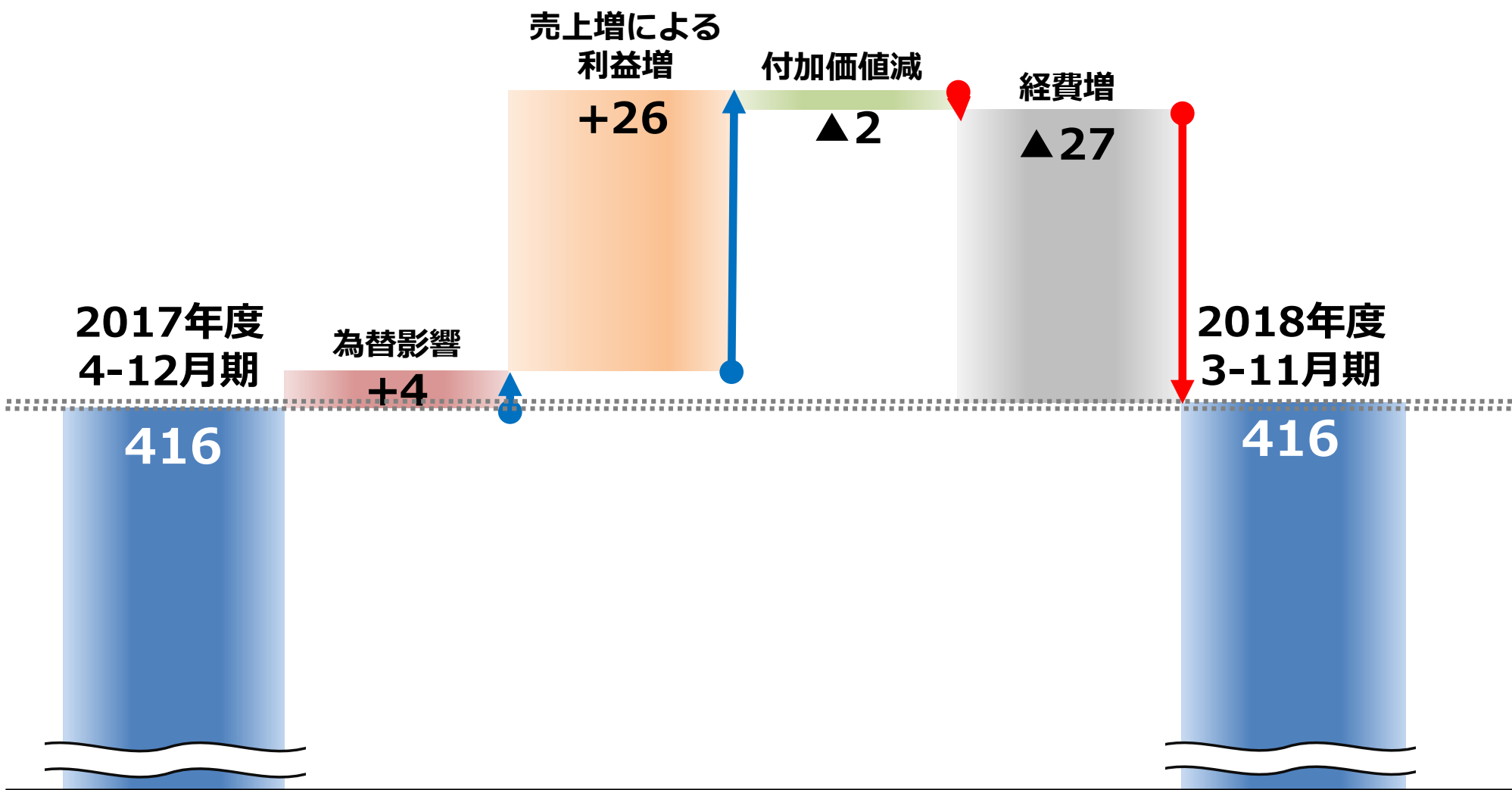


2018年度 3-11月期



営業利益増減要因分析（2017年度4-12月期 → 2018年度3-11月期）

（単位：億円）



2018年度3Qにおける取り組み（1）

➤ 生産力の強化

➔ 安川ソリューションファクトリの本格稼動（i³-Mechatronicsの実証開始）

- ・ 一気通貫生産・変種変量生産を実現
- ・ 生産スピード向上（3倍*）、リードタイム短縮（1/6*）、生産効率向上（3倍*）

*当社従来工場比



工場外観



モータ組み立てライン



データの見える化を実現した統合司令室

➤ 販売力の強化

➔ 販売拡大と経営効率化を狙ったグループ内の事業再編

- ・ 鉄鋼エンジニアリング事業と一般産業用モータ事業を安川オートメーション・ドライブに統合
- ・ 安川モートルのサーボモータ・EVモータの生産機能をモーションコントロール事業に、安川モートルのPMモータ事業をインバータ事業に統合

2018年度3Qにおける取り組み（2）

➤ 新規事業の拡大

➔ 食品市場向け事業の本格立ち上げ

- ・ 大手コンビニエンスストア向け商品の専用野菜工場に自動化システムを提供

➔ 産業用ロボット「MOTOMAN-GPシリーズ」の食品グリース仕様タイプを発売

- ・ 機械潤滑剤に食品機械用グリースを採用し、食品製造ラインに求められるより高い清潔性・安全性を実現

➔ 太陽光発電用パワーコンディショナの新製品「XGI1000 65kW」発売

- ・ 産業用高圧および発電事業者用特別高圧に向けたグローバル対応機種を米国・日本市場に投入



XGI1000 65kW

2. 2018年度通期連結決算見通し

2018年度通期見通し（連結）

- 半導体投資の減速および中国市場の低迷により、予想を下方修正
(売上高・当期純利益は過去最高)

	2018年度 予想	2017年度 〈参考値ベース〉 実績	前年度比 〈参考値〉		2018年度 前回予想
			増減額	増減率	
売上高	4,820億円	4,645億円	+175億円	+3.8%	4,980億円
営業利益	530億円	571億円	▲41億円	▲7.2%	590億円
経常利益	544億円	583億円	▲39億円	▲6.7%	600億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	455億円	417億円	+37億円	+9.0%	470億円

[注] 2017年度のデータは対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値ベース〉にて記載

2018年度通期見通し（セグメント別）

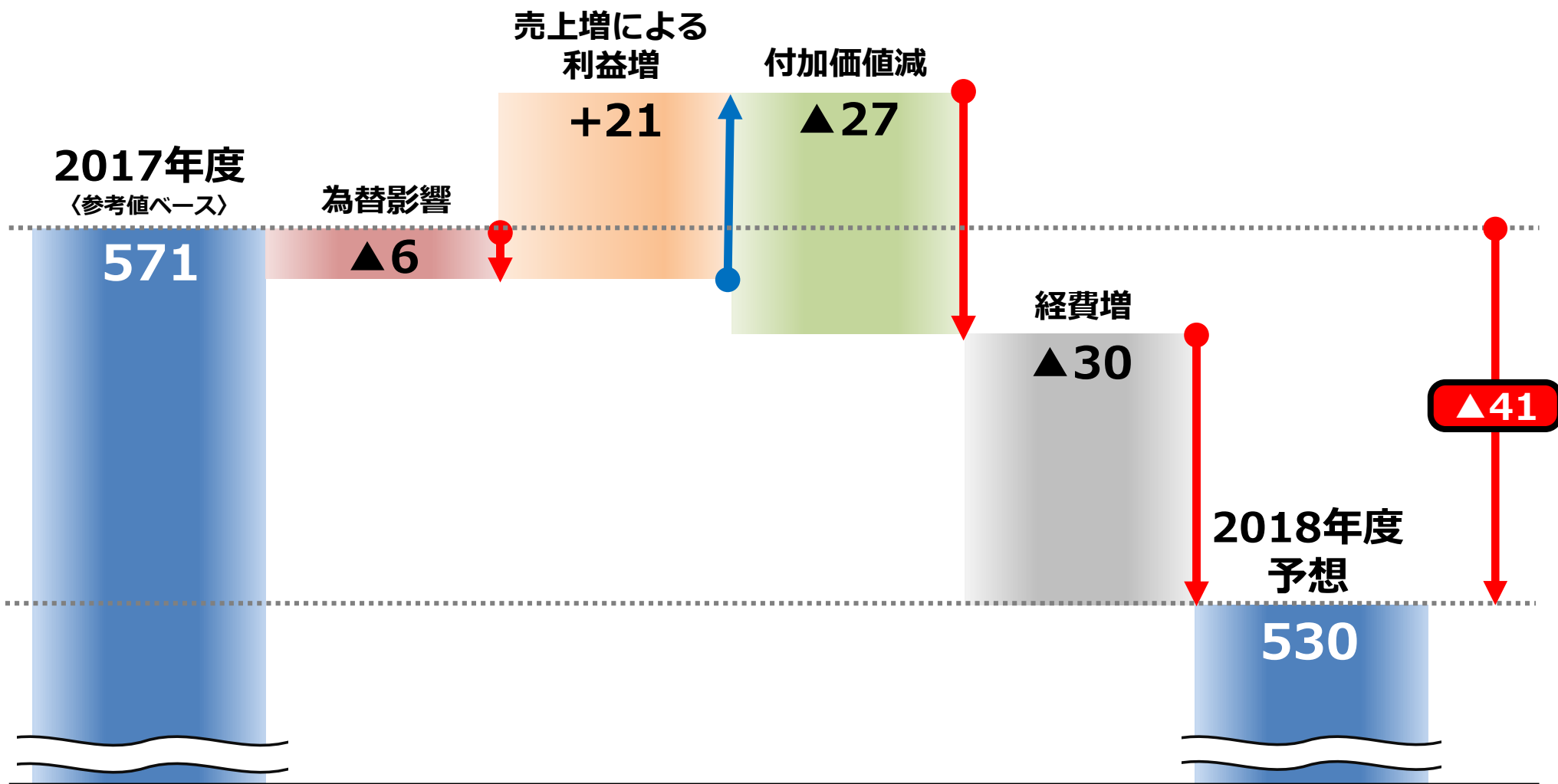
- ・ モーションコントロール・ロボットの予想を下方に修正
- ・ システムエンジニアリングは黒字化を見込む

	2018年度		2017年度		前年度比〈参考値〉		2018年度	
	予想	利益率	実績 〈参考値ベース〉	利益率	増減額	増減率	前回予想	利益率
(単位：億円)								
売上高	4,820		4,645		+175	+3.8%	4,980	
モーションコントロール	2,095		2,152		▲57	▲2.6%	2,180	
ロボット	1,787		1,668		+119	+7.1%	1,850	
システムエンジニアリング	608		613		▲4	▲0.7%	610	
その他	329		211		+118	+55.6%	340	
営業利益	530	11.0%	571	12.3%	▲41	▲7.2%	590	11.8%
モーションコントロール	359	17.1%	423	19.6%	▲64	▲15.1%	410	18.8%
ロボット	185	10.4%	185	11.1%	+1	+0.4%	198	10.7%
システムエンジニアリング	1	0.2%	▲21	▲3.4%	+22	-	▲4	▲0.7%
その他	5	1.5%	▲2	▲0.7%	+7	-	6	1.9%
消去または全社	▲21	-	▲14	-	▲7	-	▲21	-
経常利益	544	11.3%	583	12.6%	▲39	▲6.7%	600	12.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	455	9.4%	417	9.0%	+37	+9.0%	470	9.4%

[注] 2017年度のデータは対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値ベース〉にて記載

営業利益増減要因分析（2017年度 → 2018年度予想）

（単位：億円）



[注] 2017年度の営業利益は対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値ベース〉にて記載

3. 参考資料

設備投資,研究開発費の状況,為替レート・感応度

設備投資,研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2016年度(実績)	2017年度(実績)	2018年度(計画)
設備投資額	149.1	196.9	350.0
減価償却費	120.8	126.9	140.0
研究開発投資	179.8	190.7	210.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2016年度(実績)				2017年度(実績)				2018年度(想定)			
	4-12	4Q	下期	通期	4-12	4Q	下期	通期	3-11(実績)	4Q	下期	通期
対 米ドル	106.3	114.5	109.6	108.4	111.7	110.7	111.5	111.5	110.4	110.0	111.4	110.4
対 ユーロ	118.5	121.5	118.4	119.2	127.1	134.2	133.3	128.8	129.8	125.0	127.3	128.6
対 円	16.03	16.67	16.09	16.19	16.56	17.16	17.08	16.71	16.65	16.00	16.16	16.49
対 ウォン	0.093	0.098	0.095	0.094	0.099	0.103	0.101	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額 (通期, 想定)	
	売上高	営業利益
米ドル	約 9.4	約 2.4
ユーロ	約 7.4	約 2.1
円	約 10.2	約 2.6
ウォン	約 3.1	約 1.8

B/S 構造の推移

2018年2月28日時点

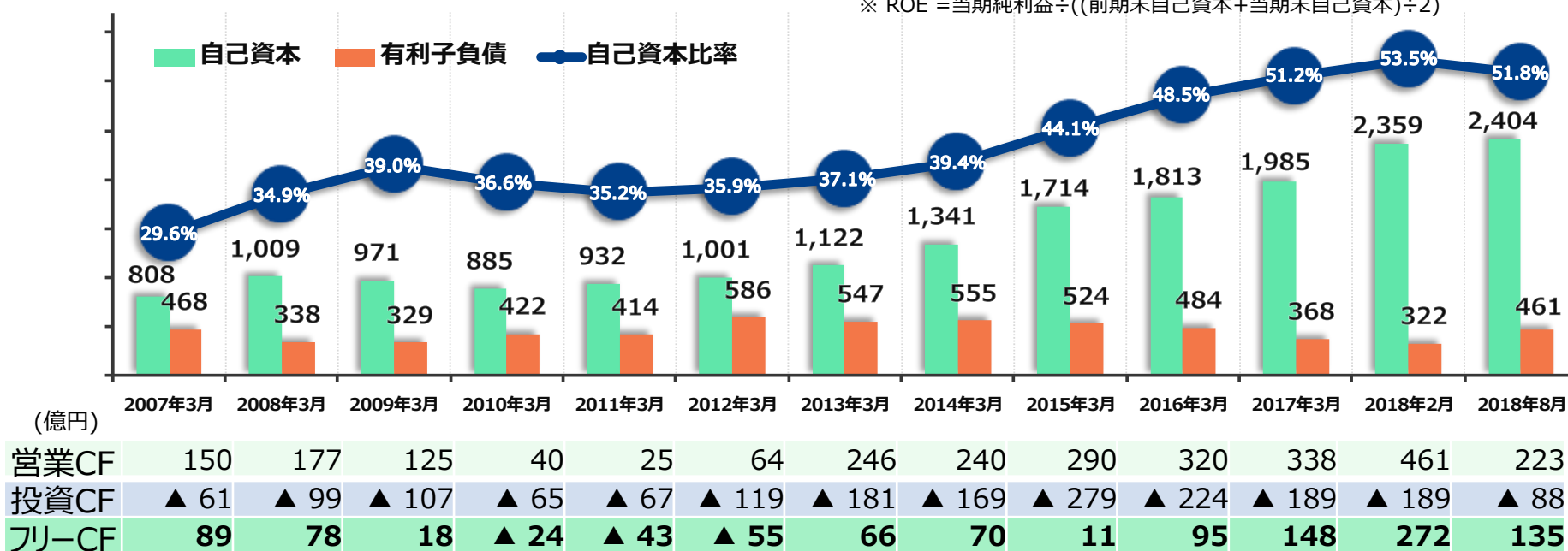
- 自己資本比率 53.5%
- 自己資本 2,359億円
- 有利子負債 322億円
- D/Eレシオ 0.14
(ネットD/Eレシオ) ▲0.04
- 棚卸資産 1,001億円
(回転月数) (2.7ヶ月)
- ROE 18.3%

2018年11月30日時点

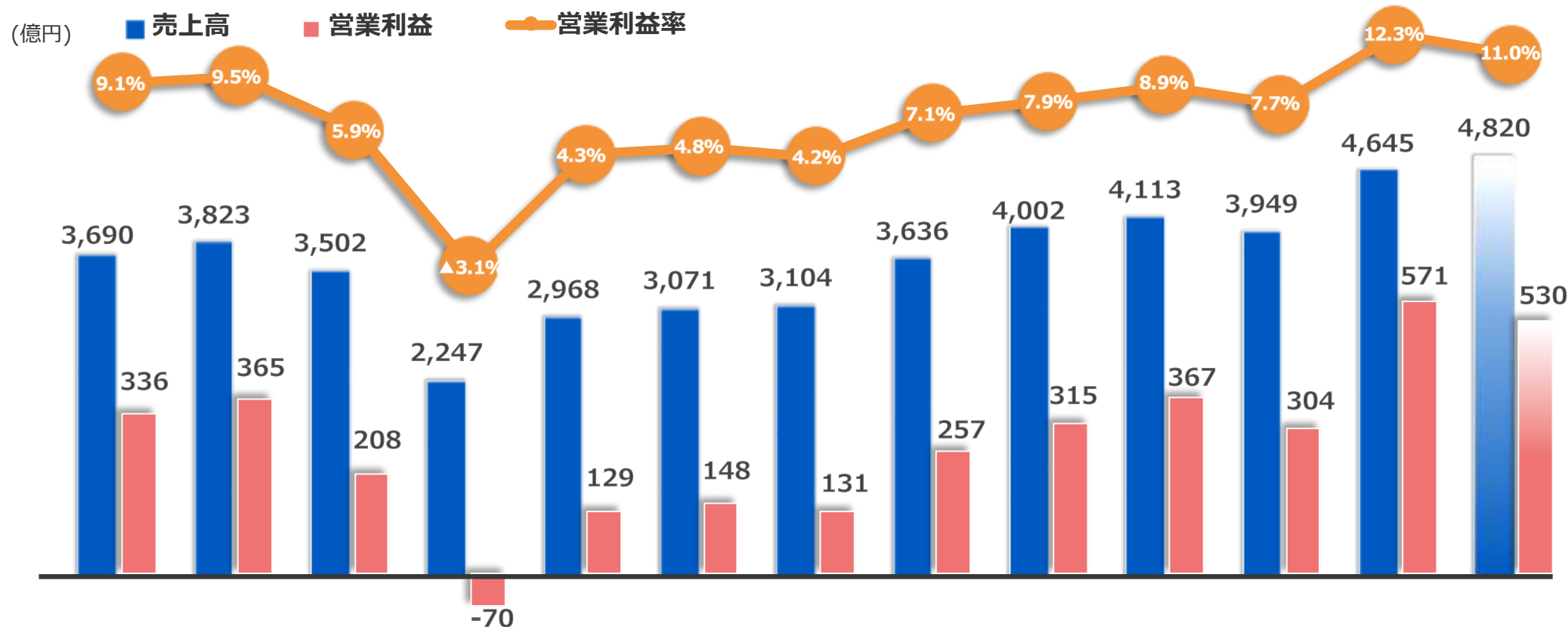
- 自己資本比率 51.5%
- 自己資本 2,454億円
- 有利子負債 513億円
- D/Eレシオ 0.21
(ネットD/Eレシオ) 0.02
- 棚卸資産 1,165億円
(回転月数) (2.9ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)

(億円)



連結売上高・営業利益推移（2006年度～2018年度予想）



2006年度 2007年度 2008年度 2009年度 2010年度 2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度
〈参考値ベース〉 2018年度
予想

ダッシュ 100

Challenge 100

Realize 100

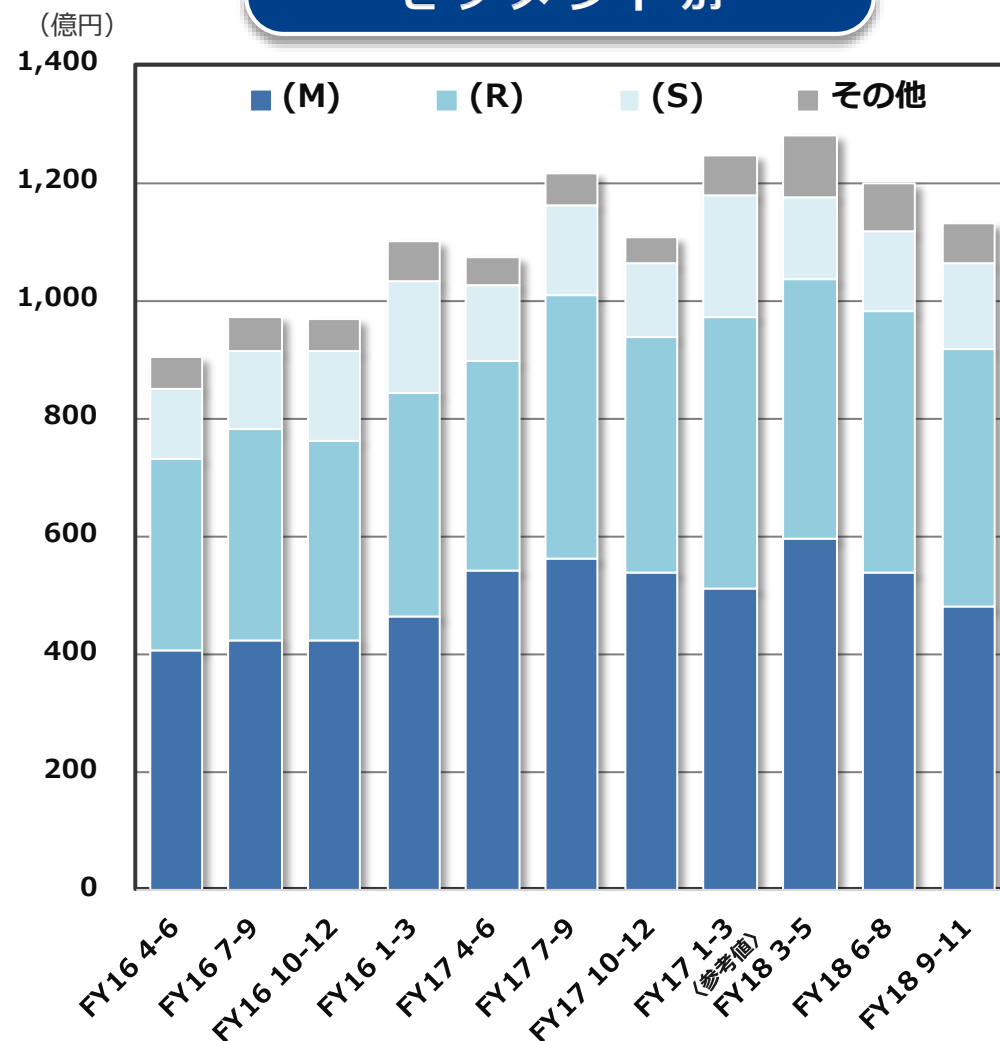
Dash 25

中期経営計画

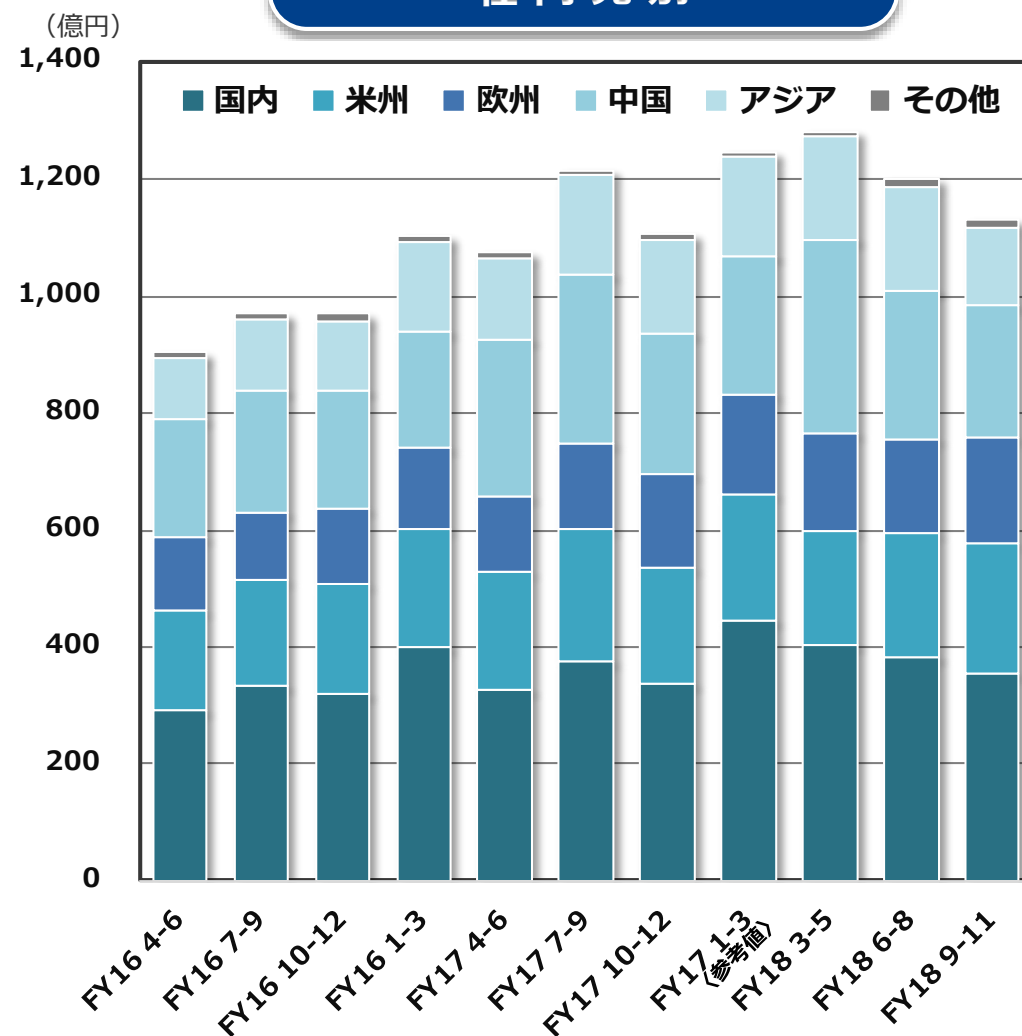
[注] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値ベース〉にて記載

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別



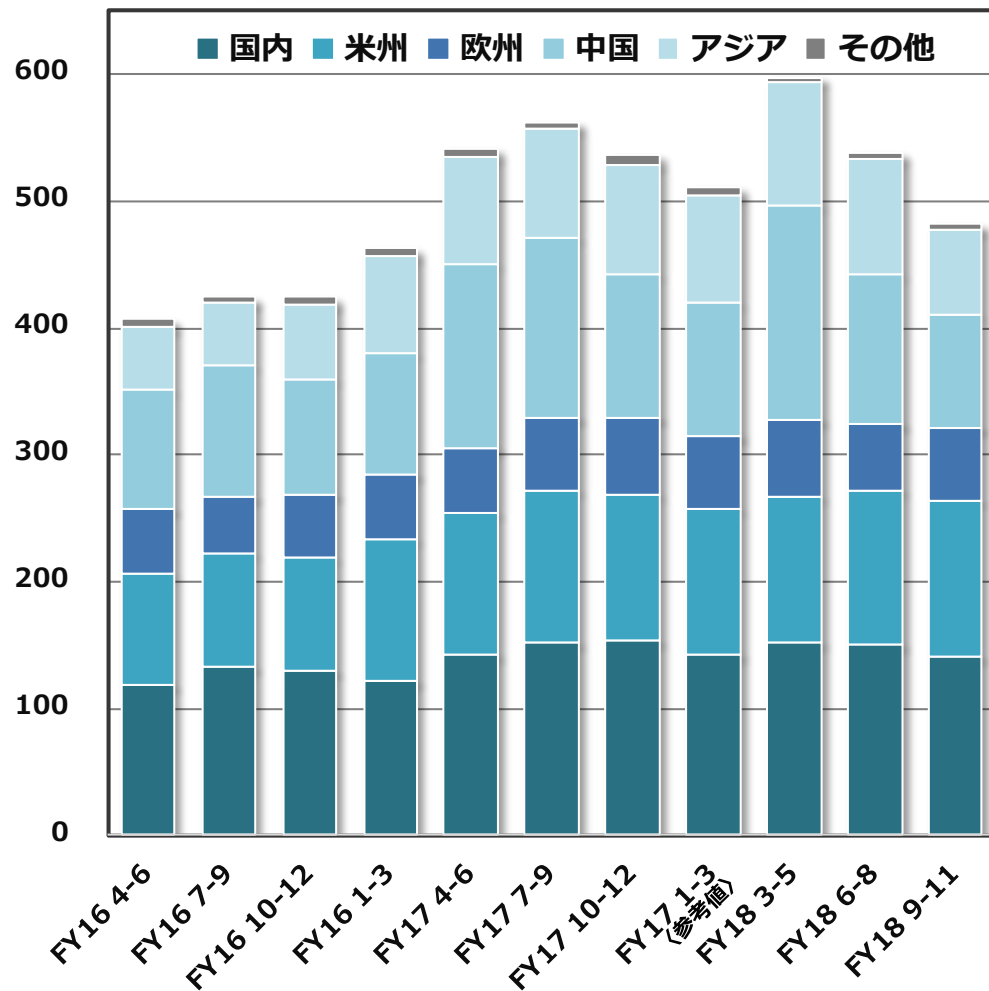
[注.1] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

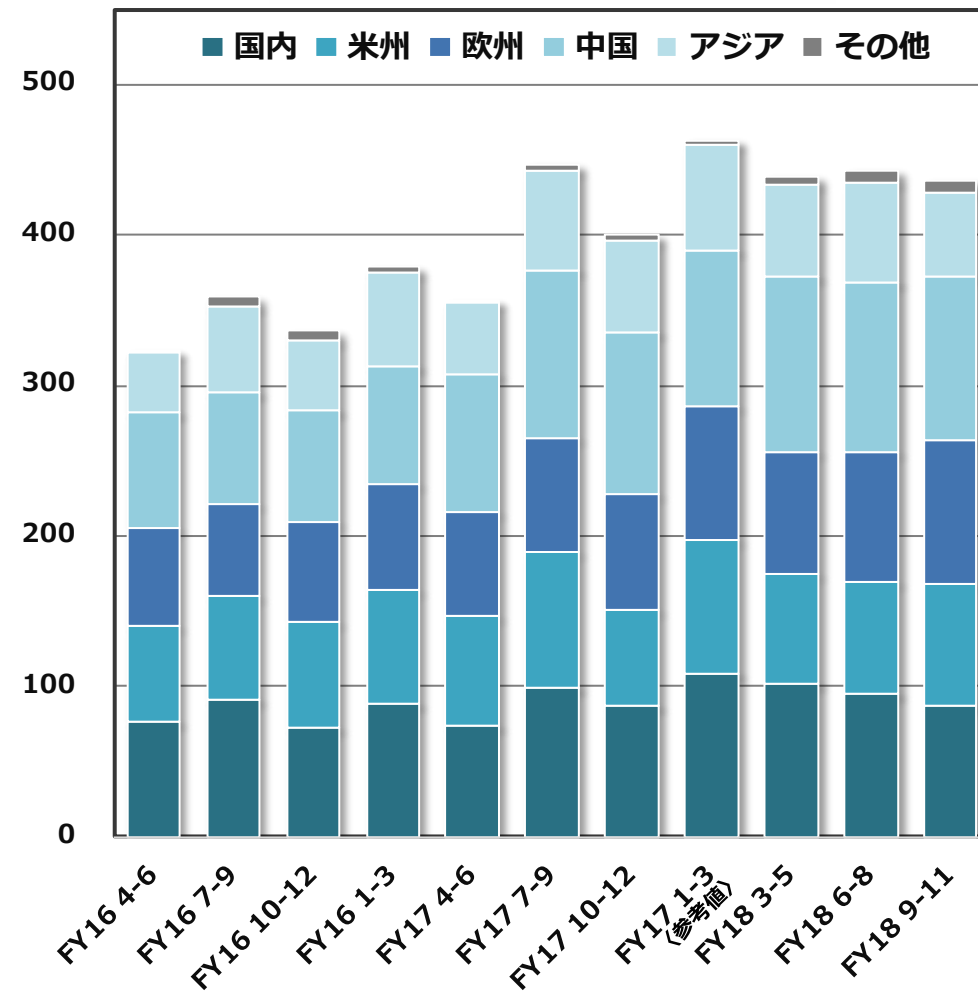
モーションコントロール

(億円)



ロボット

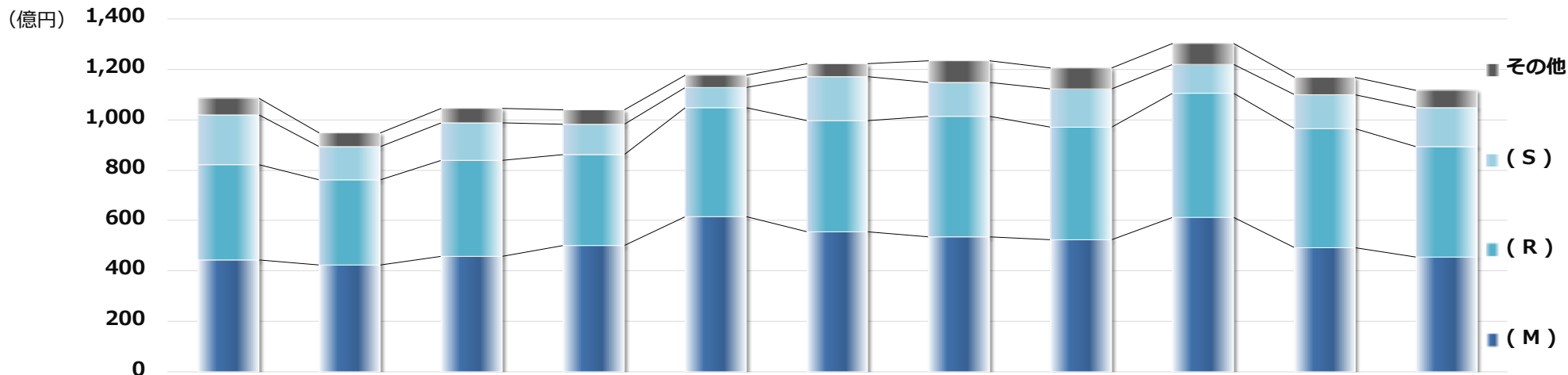
(億円)



[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



FY2016						FY2017				FY2018		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 《参考値》	3-5月期	6-8月期	9-11月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%
YoY	(M)	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%	+17%	+5%	▲1%	▲11%	▲15%
	(R)	▲9%	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%	+7%	▲8%
	(S)	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+42%	▲24%	+16%
QoQ	(M)	+3%	▲4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+17%	▲19%	▲8%
	(R)	+12%	▲11%	+13%	▲5%	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%	▲4%	▲7%
	(S)	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲23%	+16%	+16%
為替 レート	円/ドル	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8	110.8	112.7
	円/ユーロ	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9	128.9	129.6

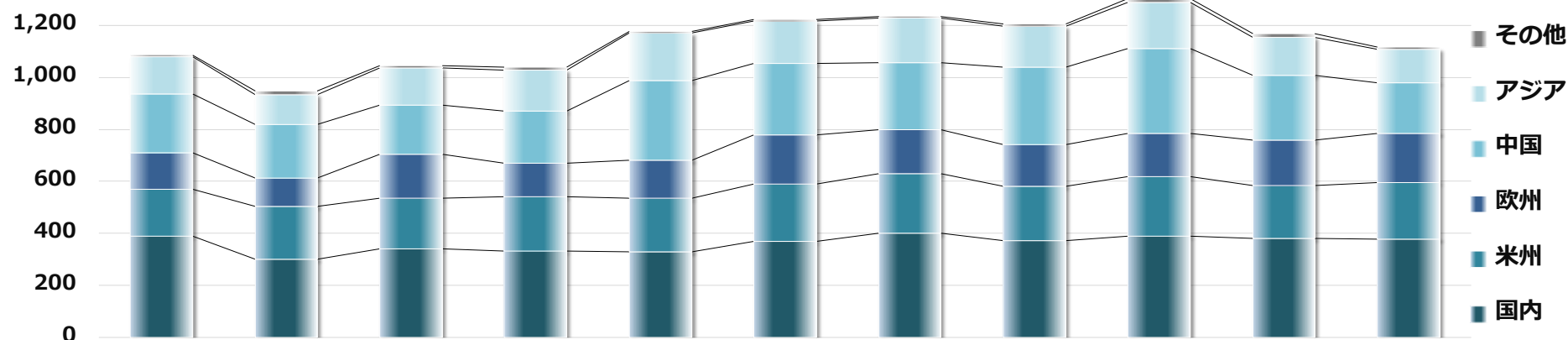
[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用

（億円） 1,400



FY2016						FY2017				FY2018		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%
YoY	国内	+9%	▲15%	▲6%	+11%	▲15%	+23%	+18%	+12%	+18%	+4%	▲6%
	米州	▲17%	▲1%	▲2%	+7%	+15%	+9%	+17%	+0%	+11%	▲10%	▲5%
	欧州	▲3%	▲18%	+2%	+6%	+2%	+73%	▲0%	+25%	+16%	▲6%	+11%
	中国	+10%	▲2%	▲12%	+21%	+36%	+34%	+38%	+47%	+6%	▲9%	▲25%
	アジア	▲13%	▲10%	+17%	+15%	+27%	+40%	+20%	+1%	▲2%	▲11%	▲26%
QoQ	国内	+29%	▲23%	+14%	▲2%	▲1%	+12%	+9%	▲7%	+4%	▲2%	▲1%
	米州	▲8%	+14%	▲5%	+7%	▲1%	+8%	+2%	▲8%	+10%	▲12%	+8%
	欧州	+17%	▲23%	+58%	▲25%	+13%	+30%	▲9%	▲6%	+5%	+5%	+8%
	中国	+37%	▲9%	▲9%	+7%	+53%	▲11%	▲6%	+15%	+10%	▲24%	▲22%
	アジア	+4%	▲19%	+23%	+10%	+15%	▲10%	+5%	▲7%	+12%	▲18%	▲13%

[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

主要生産拠点



YASKAWA